

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-87	高等学校	地理歴史科	地理探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地探 002-901	地理探究		

## 1. 編修の基本方針

### (1) 高校生が現代世界の地理的事象について主体的に学べる教科書

- ・生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりしながら学ぶことができるように、各節の冒頭に「ポイント」と「キーワード」、末尾に「確認しよう」を設けた。
- ・生徒が現代世界の地理的事象についてよりよく理解できるように、事象の背景や因果関係を含めて本文を丁寧に記述するとともに、重要用語について解説する「TERM」を適宜設けた。
- ・生徒が自分自身の生活や現実の社会と学習内容とのつながりを意識できるように、現代の社会経済に関する事例を積極的に取り上げた。
- ・生徒が現代世界の地理的事象をより具体的にとらえられるように、地図や写真、図表などの資料を豊富に大きく掲載した。
- ・生徒が「地理総合」での学習内容を踏まえて、「地理探究」の学習に取り組むことができるように、特設ページ「地理探究へのステップ」を設けた。
- ・生徒が資料の見方や活用の仕方などの基本的な地理的技能を身に付けられるように、「SKILL」といった地理的技能に関する特設ページを設けた。
- ・生徒が資料を活用して考え、自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を通して主体的・対話的で深い学びに取り組めるように、本文ページの資料に考察の手がかりとなるポイントを示した「？」や、日本の地理的諸課題を読み解く特設ページ「資料から日本の地理的諸課題を読み解く」などを設けた。

### (2) 高校生が多面的・多角的に考察し、地理的な思考力・判断力・表現力を養える教科書

- ・生徒が現代世界の地理的事象を多面的・多角的に考察できるように、学習内容に関連したテーマや補足する内容を取り上げた「NOTE」、具体的な国・地域が事例になっている関連事項を取り上げた「FOCUS」など、多彩なコーナーを設けた。
- ・生徒が現代世界の地理的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連などについて多面的・多角的に考察できるように、地理的事象の背景や因果関係を含めて本文を丁寧に記述した。
- ・生徒が地理的な思考力・判断力・表現力を養えるように、資料を活用して考え、自分の考えを文章にまとめる「演習問題」を設けた。
- ・生徒が地理学に興味・関心をもつきっかけとして、「地理学のフロンティア」を設けた。

### (3) 社会の形成に主体的に参画する態度を涵養する教科書

- ・現代の社会経済に関する事例を積極的に取り上げ、生徒が自分自身の生活や現実の社会と学習内容とのつながりを常に意識しながら学習することを通して、社会の形成に主体的に参画する態度を養えるようにした。
- ・現代世界の地理的諸課題の解決に向けた取り組みを学ぶことを通して、世界や日本のさまざまな課題に対する意識を高め、自ら社会の一員として課題の解決に主体的に参画する態度を育めるようにした。
- ・第3編「現代世界と日本の国土像」では、日本が抱える地理的課題を自ら見出し、解決策を探究する活動を通して、主体的に社会の形成に参画する意識や態度を涵養できるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>巻頭</p> <p>地理探究へのステップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理的技能を身に付けられるように、写真などの資料を具体的に掲載するとともに文章を丁寧に記述した(第1号)。</li> <li>・ 地図や GIS が社会の幅広い領域で活用されていることを具体的に理解できるようにした(第2号)。</li> <li>・ 地理的技能の意義と役割についての理解を通して、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにした(第3号)。</li> <li>・ 開発によって自然環境が変化したことで災害につながった事例を掲載し、地理の学習が環境問題の理解に有用であることを示し、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした(第4号)。</li> <li>・ 日本において長期にわたり地形図が整備されてきたことなどに触れ、日本の伝統と文化を尊重できるようにした(第5号)。</li> </ul>	<p>6～12 ページ</p> <p>8～12 ページ</p> <p>6～12 ページ</p> <p>12 ページ</p> <p>8～9 ページ</p>
<p>第1編 現代世界の系統地理的考察</p> <p>第1章 自然環境</p> <p>1節 世界の地形</p> <p>2節 気候と自然環境</p> <p>3節 気候と人々の生活</p> <p>4節 日本の自然環境と自然災害</p> <p>5節 世界の環境問題</p> <p>第2章 産業と資源</p> <p>1節 産業の発展と社会的分業</p> <p>2節 農林水産業</p> <p>3節 食料問題</p> <p>4節 エネルギーと鉱産資源</p> <p>5節 資源・エネルギー問題</p> <p>6節 工業の立地と工業地域の変容</p> <p>7節 第三次産業</p> <p>第3章 交通・通信、貿易、観光</p> <p>1節 交通・通信</p> <p>2節 貿易と経済連携</p> <p>3節 観光</p> <p>第4章 人口、村落・都市</p> <p>1節 人口</p> <p>2節 人口問題</p> <p>3節 村落・都市</p> <p>4節 居住・都市問題</p> <p>第5章 生活文化、民族・宗教</p> <p>1節 生活文化の地域性</p> <p>2節 民族・言語・宗教</p> <p>3節 民族問題</p> <p>4節 現代の国家と領土問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い視野から現代世界の地理的事象について系統的に理解できるように本文を丁寧に記述した(第1号)。</li> <li>・ 特設ページ「SKILL」を設け、基本的な地理的技能を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>・ 本文の内容と関連のあるテーマや本文を補足する内容を取り上げた「NOTE」、具体的な国・地域が事例になっている関連事項を取り上げた「FOCUS」を設け、幅広い知識を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>・ 本文の内容に関連した記述式の「演習問題」を設け、自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を通して、創造性を培えるようにした(第2号)。</li> <li>・ 自然災害についての理解を深め、多面的・多角的に考察できるように、「自然災害」の特設ページを設けた。また、現代世界の地理的諸課題や、身近に発生することが想定される自然災害に対応した自助・共助・公助などについての理解と考察を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした(第3号)。</li> <li>・ 世界と日本の多様な自然環境や環境問題について取り上げ、環境の保全や持続可能な社会づくりに寄与する態度を養えるようにした(第4号)。</li> <li>・ 世界各地の多様な文化や、地球規模の課題についての理解と考察を通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした(第5号)。</li> </ul>	<p>14～27、34～55、58～79ページほか</p> <p>28～33、56～57、80～81ページなど</p> <p>18、19、21、25、34、35、36、37、38、40、42、43、48、49、52ページなど</p> <p>16、22、37、39、46、50、62、64、69、74ページなど</p> <p>58～67ページ</p> <p>68～79ページ</p> <p>186～207ページ</p>

<p><b>第2編 現代世界の地誌的考察</b></p> <p>第1章 現代世界の地域区分  1節 地域区分の意義と方法</p> <p>第2章 現代世界の諸地域  1節 東アジア  2節 東南アジア  3節 南アジア  4節 西アジアと中央アジア  5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ  6節 ヨーロッパ  7節 ロシア  8節 アングロアメリカ  9節 ラテンアメリカ  10節 オセアニア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い視野から現代世界の地誌を理解できるように本文を丁寧に記述した(第1号)。</li> <li>特設ページ「SKILL」を設け、基本的な地理的技能を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>本文の内容と関連のあるテーマや本文を補足する内容を取り上げた「NOTE」、具体的な国・地域が事例になっている関連事項を取り上げた「FOCUS」を設け、幅広い知識を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>本文の内容に関連した記述式の「演習問題」を設け、自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を通して、創造性を培えるようにした(第2号)。</li> <li>世界各地の地理的諸課題についての理解と考察を通して、主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養えるようにした(第3号)。</li> <li>自然環境を含めた地域の全体像を一目でとらえられるように各地域の冒頭ページには地勢図を大きく掲示し、世界各地の多様な自然環境や環境問題について取り上げ、環境の保全や持続可能な社会づくりに寄与する態度を養えるようにした(第4号)。</li> <li>世界各地の多様な文化や、地球規模の課題への理解と考察を通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした(第5号)。</li> </ul>	<p>212～214、216～298ページ</p> <p>215ページ</p> <p>212、213、217、219、220、221、222、223、225、226、227、228、229ページなど</p> <p>218、224、227、230、232、234ページなど</p> <p>212～298ページ</p> <p>218、223、230、238、246、247、252ページなど</p> <p>222、229、231、244、247～249、253、259、269ページなど</p>
<p><b>第3編 現代世界と日本の国土像</b></p> <p>第1章 持続可能な国土像の探究  1節 日本の地理的諸課題を読み解く  2節 持続可能な国土像の探究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界と日本の国土像について、幅広い視野から考察できるように本文を丁寧に記述した(第1号)。</li> <li>統計資料などの地理的技能が地理的諸課題の解決に有効であることを取り上げ、創造性を培えるようにした(第2号)。</li> <li>持続可能な国土像の探究を通して、主体的に社会の形成に参画し、社会の発展に寄与する態度を養えるようにした(第3号)。</li> <li>日本の自然・国土について取り上げ、環境の保全や持続可能な社会づくりに寄与する態度を養えるようにした(第4号)。</li> <li>日本が抱える地理的課題の探究を通して、伝統と文化を尊重するとともに国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした(第5号)。</li> </ul>	<p>300～305、314～315ページ</p> <p>304～315ページ</p> <p>304～315ページ</p> <p>300～315ページ</p> <p>300～315ページ</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 生徒が意欲的に学習できるように、写真・地図・図表などの資料を豊富に大きく掲載した。
- インクルーシブ教育への配慮のため、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し文字の視認性を高め、地図やグラフなどはカラーユニバーサルデザイン(CUD)を考慮し、読みやすさ・見やすさに留意した。また、二次元コードのデジタルコンテンツとして、本文を読み上げる「読み上げ音声」を用意し、視覚だけでなく聴覚からも学習できるように配慮した。
- 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-87	高等学校	地理歴史科	地理探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地探 002-901	地理探究		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫

- 生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりしながら学ぶことができるように、各節の冒頭に「ポイント」と「キーワード」、末尾に「確認しよう」を設けた。また、重要用語について解説する「TERM」を適宜設けた。
- 生徒が資料を活用してより深く考え、自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を通して主体的・対話的で深い学びに取り組めるように、資料を活用した考察の手がかりとなるポイントを示した「？」や、本文の内容に関連した記述式の「演習問題」を設けた。
- 生徒が資料を読み解いて地理的課題を見出したり解決策を考えたりする活動を通して、地理的な思考力・判断力・表現力を涵養できるように、「SKILL」や「資料から日本の地理的諸課題を読み解く」などの特設ページを設けた。
- 生徒が地理学に興味・関心をもつきっかけとして、「地理学のフロンティア」を設けた。

### (2) 地理的事象の理解と地理的技能をより高める工夫

- 生徒が地理的事象の規則性・傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題についてよりよく理解できるように、地理的事象の背景や因果関係を含めて本文を丁寧に記述するとともに、地図や写真、図表などの資料を豊富に掲載した。
- 生徒が自分自身や現実の社会と学習内容とのつながりを意識できるように、現代の社会経済に関する事例などを積極的に取り上げた。
- 生徒が「地理総合」での学習内容を踏まえて、「地理探究」の学習に取り組むことができるように、特設ページ「地理探究へのステップ」を設けた。
- 生徒が地理的技能を向上させることができるように、「SKILL」や「資料から日本の地理的諸課題を読み解く」といった地理的技能に関する特設ページを設けた。

### (3) 地理的事象を多面的・多角的に考察するための工夫

- 現代世界の地理的事象の意味や意義、特色、事象相互の関連などについて多面的・多角的に考察できるように、地理的事象の背景や因果関係を含めて本文を丁寧に記述した。
- 本文の内容と関連のあるテーマや本文を補足する内容を取り上げた「NOTE」、具体的な国・地域が事例になっている関連事項を取り上げた「FOCUS」などを設け、より多面的・多角的な学習ができるように工夫した。
- 生徒が資料を読み解き地理的課題を見出したり解決策を考えたりする活動を通して地理的事象を多面的・多角的に考察できるようにするために、「資料から日本の地理的諸課題を読み解く」などの特設ページを設けた。

### (4) 特別支援教育に関わる適切な配慮

- 基本紙面において、資料の掲載範囲に地色を敷いて本文の範囲と区別するなど、特別支援教育の観点からも読みやすさ・見やすさに配慮した。
- インクルーシブ教育への配慮のため、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高めるとともに、地図やグラフなどの資料はカラーユニバーサルデザイン(CUD)に配慮し、色覚特性がある生徒にも見やすい色使いに配慮した。二次元コードのデジタルコンテンツとして、本文を読み上げる「読み上げ音声」を用意し、視覚だけでなく聴覚からも学習できるように配慮した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
<b>第1編 現代世界の系統地理的考察</b>	A-(1)(2)(3)(4)(5)	13～210 ページ	69
第1章 自然環境	A-(1)	14～81 ページ	20
1節 世界の地形			7
2節 気候と自然環境			2
3節 気候と人々の生活			7
4節 日本の自然環境と自然災害			2
5節 世界の環境問題			2
第2章 産業と資源	A-(2)	82～143 ページ	25
1節 産業の発展と社会的分業			2
2節 農林水産業			6
3節 食料問題			2
4節 エネルギーと鉱産資源			4
5節 資源・エネルギー問題			2
6節 工業の立地と工業地域の変容			6
7節 第三次産業			3
第3章 交通・通信、貿易、観光	A-(3)	144～159 ページ	6
1節 交通・通信			2
2節 貿易と経済連携			2
3節 観光			2
第4章 人口、村落・都市	A-(4)	160～185 ページ	10
1節 人口			3
2節 人口問題			2
3節 村落・都市			3
4節 居住・都市問題			2
第5章 生活文化、民族・宗教	A-(5)	186～210 ページ	8
1節 生活文化の地域性			2
2節 民族・言語・宗教			2
3節 民族問題			2
4節 現代の国家と領土問題			2
<b>第2編 現代世界の地誌的考察</b>	B-(1)(2)	211～298 ページ	32
第1章 現代世界の地域区分	B-(1)	212～217 ページ	2
1節 地域区分の意義と方法			2
第2章 現代世界の諸地域	B-(2)	218～298 ページ	30
1節 東アジア			5
2節 東南アジア			4
3節 南アジア			3
4節 西アジアと中央アジア			2
5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ			2
6節 ヨーロッパ			4
7節 ロシア			2
8節 アングロアメリカ			4
9節 ラテンアメリカ			2
10節 オセアニア			2
<b>第3編 現代世界と日本の国土像</b>	C-(1)	299～315 ページ	4
第1章 持続可能な国土像の探究	C-(1)	300～315 ページ	4
1節 日本の地理的諸課題を読み解く			2
2節 持続可能な国土像の探究			2
		計	105